



たいよう

子育て通信

平成29年 NO. 154

今年の夏も、猛暑でしたね。その暑さの中でも、甲子園の高校野球や世界陸上など、たくさんの感動を味わった方も多いと思います。

人類最速のウサイン・ボルト選手の最後のレースに、様々な感慨を持たれたのではないのでしょうか。脊椎側弯症を持病に持つボルト選手、下脚後方の筋肉に大きな負担をかけ肉離れに悩まされていたそうです。100メートル走には向かない体でしたが、どうしてもレースに出たいと、チームドクターと3年計画で筋肉強化を徹底したそうです。超一流の選手たちこそ、地道に努力を重ねているのですね。

私たちも、子どもたちの無限の可能性を信じ、子どもの「これ、好き。やってみたい!」を応援していきたいですね。



♪子育てエピソード♪

夏休み中は、ふだん幼稚園に通っている子どもたちが、たくさん遊びに来てくれ、こどもひろばは大にぎわい。

小さな子どももいるので、スタッフが幼稚園の子どもたちに「赤ちゃんに気をつけてあげてね」と、声をかけました。すると「ほんとだー」と赤ちゃんの周りに集まって来て「何歳?」とママに聞きました。「明日が1歳の誕生日です」と、ママ。それを聞いた幼稚園児たち「じゃあ、みんなでお誕生日の歌を歌ってあげよう!お名前はなんて言うのー?」と、お名前をママに聞きました。そして「♪ハッピーバースデートゥーユー、ハッピーバースデートゥーユー～ディアAちゃん～♪」と大合唱。「こんなにたくさんのおもたちにお祝いしてもらって、うれしい!感激です!」とママ。周りにいるみんなも温かい気持ちになりました。年齢差がある子どもたちが遊ぶこどもひろば。こんな素敵な出会いがあるのですね。





ズバッと解決Q & A



Q 公園やあそびのひろばなどへ行っても、おもちゃの取り合いでもめてばかり。見守るべきか、口を出すべきか…。他のママの目を気にして自分の子どもばかり叱ってしまうことも。どうしたらよいのか。



有意義な学びのチャンス



A ほしいおもちゃが目の前にあったら、手を伸ばす。取られた子は悔しくて取った子を叩いたり突き倒したり、それができなくて泣き出したり。2,3歳の子どもによくある光景です。「面白そう！ほしいな～」という好奇心が芽生えた証拠。その一方で、これは自分のものという所有欲も育ってきたのです。だからといって、人のものを取るのはいけないことです。また、嫌なことをされたからといって、手を出すのももちろんいけないことです。そうしたマナーやルールを徐々に覚えていくチャンスですし、他の子どもとけんかをする経験は、自分と違う思いの人と出会って、相手の気持ちに気づける有意義な学びの場でもあります。社会性(人との関係を調整する力)を育むことができます。

自分の子どもを叱って済ませても、子どもには割り切れない気持ちが残るだけで、心の成長にはつながりません。トラブルが生じた時、その都度、自分と相手の思いや解決方法のヒントを、言葉にして伝えてあげましょう。すぐに理解できず、また同じことをしてしまっても、繰り返し伝えることが大事です。例えば、遊んでいるおもちゃを取られそうになった時「今はこれで遊びたいんだよね」と気持ちを受け止め、次に「お友だちも遊びたいって」と相手の気持ちを代弁します。その後で、「待っててねって言おうか？」「違うおもちゃもあるよって教えてあげる？」というように解決方法を提案してみましょう。相手の様子を見て、子どもは相手の気持ちを感じとることができるようになってきます。そして、自分はどうすればいいのかを考え始めます。経験を通して学ぶことで、しばらく遊んだ後で自分から「どうぞ」と貸してあげられたり、別な解決方法を提案できたりするようになっていきます。

繰り返し伝える根気はいりますが、学びと成長のチャンスと気持ちを切り替えてみませんか。少し気持ちが楽になるかもしれませんよ。

☆子育て教室 なかよし親子ルーム☆

なかよし親子ルームは、半年間で10回の講座です。毎年、東加古川子育てプラザ、加古川駅南子育てプラザ、尾上公民館を会場に、前期（5月から）、後期（10月から）と2コース開催されます。

継続的に参加することで、子どもの成長を感じ合い、親子ともに育ちあっている教室です。

《参加したママの声》

自分の子どもも、一緒に参加した他の子どもも、両方の成長を感じることができました。

子育てワンポイントアドバイスを聞くと、子育てのヒントをもらえ、子どもに向き合う気持ちが、ゆったりとしてきました。

お名前呼びの時になかなかお返事ができませんでした。初めてできた時に、まわりのお母さんたちが、大喜びしてくれました。

歌や手遊びをパパにも教えてあげ、家で何度も一緒に遊びました。

親子ルームで出会った友だちと、とても仲良くなれました。



《♪後期の募集が始まります♪》

【とき】 ☆東加古川子育てプラザ

10月26日から原則毎月第2・4木曜日

☆尾上公民館

10月31日から原則毎月第1・3火曜日

※いずれも時間は9:45～11:45

【内容】 親子ふれあいあそび、クリスマス会、おもちゃづくり、子育てワンポイントアドバイスなど

【対象】 平成27年4月2日～9月30日に生まれた子どもと保護者（市内在住に限る）

【定員】 各25組（申込み多数の場合は抽選）

【参加費】 300円程度（材料費を含む）

【申込み】 10月16日（月）（必着）までに申込用紙か往復ハガキに

①子どもの氏名・ふりがな・性別・生年月日②保護者の氏名③住所④電話番号⑤希望会場を書いて、

〒675-0101 加古川市平岡町新在家1588-22東加古川子育てプラザ「なかよし親子ルーム」係まで。申込用紙は、東加古川子育てプラザ、加古川駅南子育てプラザにあります。



★パパ、ママのための講座、先取り情報！

♪パパといっしょにサーキットあそび♪

【と き】10月15日(日) 10:30~11:30

【と ころ】加古川駅南子育てプラザ

【対 象】2歳から小学生未満の子ども1人と父親

【定 員】20組(先着順)

【参加費】100円

【申込み】10月4日(水) 9:00~

おみやげも
あるよ！



※12月3日(日) 10:00~パパのための講演会

「あなた流の子どもとのあそび方」があります。

詳しくは、11月号の広報かこがわ、プラザのおたよりをご覧ください。

♪母親講座♪

「子どもスペースがスッカリ！
~カードワークによる楽しい
お片づけ講座~」

【と き】10月21日(土)
10:30~12:00

【申込み】10月6日(金)
9:00~

「クリスマスのごちそうレシピ
とバランス食の話」



【と き】11月25日(土)
10:30~12:00

【申込み】11月6日(月)
9:00~

【と ころ】加古川駅南子育てプラザ

【対 象】小学生未満の子どもを母親

※託児あり(生後6ヵ月以上・先着20人)

【定 員】20人(先着順) 【参加費】無料



※講座の申し込みは、加古川駅南子育てプラザ(ヤマトヤシキ7階)へ
(TEL 454-4189)

☆きらりing編集室☆

秋は、東加古川子育てプラザ・加古川駅南子育てプラザとも、体を動かしたり、音楽を楽しんだりするなど、親子で楽しめる講座がたくさん。

また、ヨガやストレッチピラティスなど、ママがリフレッシュできるような講座も盛りだくさん。

子育て中ならではの学びにチャレンジしてみましよう。

きっと、子育ての楽しさが広がりますよ。

